

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Photodynamic therapy vs. cryosurgery of basal cell carcinomas: results of a phase III clinical trial.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ13-6	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (II)	
	Pubmed ID	8011500	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Br J Dermatol.	
	雑誌 ID		
	巻	144	
	号	4	
	ページ	832-40.	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2001	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Wang I	Lund 大学
その他著者 1		Bendsoe N	同上
その他著者 2		Klinterberg CA	同上
その他著者 3		Enejder AM	同上
その他著者 4		Andersson-Engels S	同上
その他著者 5		Svanberg S	同上
その他著者 6		Svanberg K	同上
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	基底細胞癌に対する凍結療法と PDT の比較	
	研究デザイン	ランダム化比較試験	
	セッティング	Lund 大学	
	対象者	非モルフェア型基底細胞癌 88 例（44 例女性、44 例男性） 54% 軀幹、28% 頭頸部、11% 下肢、7% 上肢	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （3）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （3）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （15）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	再発率	1.主要 2.副次 3.その他（1）
	2	整容性	1.主要 2.副次 3.その他（2）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	凍結 41 例（結節 17 例、表在 24 例） PDT47 例（結節 22 例、表在 25 例） 3 ヶ月後腫瘍残存率：凍結＝3%＜PDT＝30% → 追加治療 1 年後再発率（病理）：凍結＝15%・PDT＝25% 有意差なし 整容的には有意に PDT が優っていた	
	結論	PDT は凍結療法に匹敵する治療法であるが、1 回の凍結療法に比べ 2-3 回の治療を要する。治療後の創は早期に治癒し、整容的には凍結 療法に優る。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	師井 洋一	

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (II) 凍結療法の中では極めて質の高い研究。よくデザインされ、両者に病理型の偏りもなく、何より再発を病理学的に検討したのはこの研究のみ。整容面も質的評価をしている。
--	------------	---